

# JR東海労ニュース

No. 1085

2008年8月6日

JR東海労働組合

**職場問題を解決しよう！シリーズ⑪**

## JR西日本 新幹線車掌の基本乗組に 契約社員の導入を提案！

JR西日本では、4月から契約社員が新幹線車掌の車内改札を行っています。さらに、9月からは本格的に新幹線の客室乗務員として契約社員が業務につくことが提案されています。

その業務内容は、運転業務（列車のドア一扱い、応急処置等）を除く車内改札や車内放送を担当するとなっています。聞くとところによると、人件費削減の一貫として提案されたと言われています。契約社員の賃金を低く設定し、正社員一人を雇用する経費で契約社員であれば、3～4名が雇用できるようにしていると言われています。

企業ですから、経費節減は重要なことだとは思いますが、安全が脅かされることがあってはならないと考えています。仮に「契約社員には安全に関わる業務はさせない」といっても、ひとたび車内で業務に就けば、そう簡単に線引きなどできません。飛行機の客室乗務員に契約社員が導入されるときにも社会的に議論が巻き起こりました。

私たちは、リニア中央新幹線開業に向け、その財源確保のため経費節減が優先され、安全が疎かされるようなことがあってはならないと考えています。この間、JR西日本で導入された施策は、JR各社に拡がっています。他人ごとにはせず、しっかり見守っていきましょう！そして、JRで働く者の団結力で跳ね返そう！

**2025年リニア開業！  
経費削減優先で、  
安全が疎かになってはいけない！**